



▶ 令和5年9月 決算特別委員会 ▶ 駅前にて市政報告を配布



発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 1号館 27階
TEL: 078-322-5845 FAX: 078-322-6171

Vol.33

■ 令和4年度各会計決算について

令和4年度各会計決算及び関連議案合計24件を、要望11件を付して認定、承認しました。

(要望事項の一例)

- ・子どもの意見を施策へ反映できるよう具体策を講じられたい。
- ・「まちなかアート事業」については、まちの賑わいに大きく寄与することから、工夫をこらしながら継続されたい。
- ・本市初のインクルーシブ公園を開設されたい。
- ・小学生の不登校の現状について精査し、校内サポートルームの拡充と人的配置をされたい。



■ 60年ぶりにリニューアル「神戸ポートタワー」いよいよお披露目へ！

鼓形の変曲線構造が独特である「神戸ポートタワー」は1963年に開業しました。

現在、大規模リニューアル工事が行われており、

開業60周年の節目となる2024年春に営業再開見込みです。

私、いさやま大介も港湾局において、ウォーターフロントエリアの質疑を重ねてきました。

○リニューアル中のプロジェクションマッピングの提案（右写真）

○リニューアル後の夜間景観

○中突堤中央ビル南館の再整備



- ★ 定期的に市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL: 070-1930-2368 FAX: 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp

■ 議会がないときでも、チームで活動しています！！

○児童自立支援施設『神戸市立若葉学園』を視察しました。

若葉学園は、平成10年に児童福祉法改正に基づき

「児童自立支援施設」として新しくスタートした施設です。

家庭・学校・地域社会の中でうまく適応できず、生活指導を必要とする児童の保護と心身の健康な成長を目指すことを目的としています。



▶ こうべ未来市会議員団で訪問

恵まれた自然環境の中で、生活の場所（寮）と学校（分教室）を併せ持ち、児童が日々充実した学園生活を送れるよう、日課や行事を工夫しているとのことでした。園内視察では、施設全体がかなり老朽化しており、特にトイレや浴場のリニューアルが必要であるとともに、講堂への空調設備の必要性も感じました。

児童たちがこの場所で学びを通して自立し、立派な社会人になることを期待します。

○『自立援助ホーム子供の家』を視察しました。

運営は「社会福祉法人 神戸真生塾」が行っています。

義務教育終了後、何らかの理由で家庭で生活できなくなった

児童や、児童養護施設を退所し働かざるを得なくなった、

原則として15歳から20歳までの青少年が、

社会で生きていくための準備をするための施設です。



▶ 担当者から説明を受ける様子

自立援助ホームでは、仲間と共同生活（個室での生活）のもと、基本的には仕事に通いながら、職員の援助を受けつつ自立に向けての生活を送り、退去後も職員が仕事や生活の相談にのるなど、継続した支援を行っており、現在男子6名、女子10名の16人が生活をしています。

ホームに入居している青少年が一日も早く自立できるよう、私たち議員団としても

更なる環境整備に向けて取り組んでいきたいと思っております。

市政を身近に 令和5年度第3回定例議会、決算特別委員会にて質疑しました！

商店街・小売市場の活性化を！

地域・経済

- ☑ コロナ禍において、従来の「地域商業活性化事業」などに加え、電子商品券事業など、消費喚起施策にも取り組んできた。
- ☑ 物価高騰の影響で苦しんでいる今後の商店街・小売市場に対する支援については、どのような方向性で考えているのか。
- ☑ 「商店街・市場応援隊派遣事業」については、どのような考え方で選定・登録されているのか。若い人材による視点が必要ではないか。

質疑のポイント

神戸市プレミアム付き電子商品券など様々な消費喚起策を切れ目なく実施してきた。今年度は、商店街等が自ら実施する事業の取り組みを支援し、活性化を後押ししている。商店街等は、日常生活における買い物の場にとどまらず、地域コミュニティの中心として重要な役割を果たしていると認識している。一方、組合員の高齢化・担い手の不足、空き店舗など様々な課題がある。それぞれの地域の特色とか個性を生かした取り組みが必要である。また、その活性化については、若い世代などの柔軟な発想を取り入れることも重要である。「商店街・市場応援隊派遣事業」については、委託先である神戸市商店街連合会など協議をしているが、よりよい制度となるように改善を図りたい。

まちなかアートの開催支援、アーティストの支援！

地域・芸術

- ☑ コロナ禍において、プロのアーティストを起用したまちなかでの演奏会・パフォーマンス等のイベントに対して補助をしてきた。
- ☑ 「まちなかアート事業」のこれまでの成果と、今後の方向性は。

質疑のポイント

宮道局長：令和4年度末までの累計で455の事業、2200人のアーティストの活動機会に繋がった。コロナが5類に移行したので、緊急支援的な対応から自律的な活動を支援へと重点的にシフトしている。現在の新たな取り組みは、まちなかパフォーマンスの支援で、公募したパフォーマーとともに、三宮プラッツなどで投げ銭やCDの販売も含め実証実験を行っている。今後は知見を活かしながら、三宮エリア以外の地下鉄沿線や灘区の水道筋でもアーティストの活躍の場を多く確保し、街中の賑わい作りにも寄与したい。



▶ 三宮プラッツでのイベント

様々な話題と課題を取り上げています！

文化・環境・港湾・観光

『神戸歴史遺産』：神戸市では、指定文化財に加え、令和3年度より、未指定の文化財で要件に合致するものを神戸歴史遺産として認定する制度を開始し、建築物だけでなく、古文書や無形文化財など、多様な文化財が認定されてきています。また、神戸歴史遺産の保存や継承等に対し、ふるさと納税等を財源とする助成を行ってきています。



神戸歴史遺産のこれまでの実績や成果について質疑し、また、博物館の一面にて、学芸員と市民による参加型活動も提案しました。▶ 六甲ケーブル六甲山上駅

温室効果ガスの排出をゼロにすることを目指す港湾『カーボンニュートラルポート』を形成する取り組みの一つ。

大気中の二酸化炭素が神戸空港島周辺の緩傾斜石積護岸においてシダモク等の藻場といった海の生態系に吸収される、

ブルーカーボンの取組みについて、質疑しました。

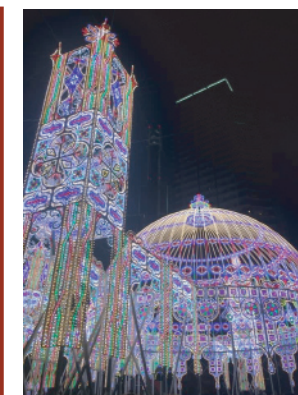


『クルーズ客船の受け入れ』：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国籍船の運航が休止されてきたが、今年3月、3年ぶりとなる国際クルーズの受け入れが再開しています。日本籍船・外国籍船の神戸への寄港はもとより、クルーズの発着港となれば地域経済への波及効果が大きいと考えています。発着港としての客船誘致に力を入れるべき、と質疑しました。



▶ MSC BELLISSIMA が入港

4年ぶりに開催される『神戸ルミナリエ』について、質疑しました。開催時期を「震災の慰霊と鎮魂、復興・再生への夢と希望」というテーマにふさわしい1月下旬へと変更し1.17以降に開催。東遊園地の他に新たにメリケンパークにも作品を展開することで、来場者の過度の集中による負担を軽減して回遊性を確保。(旧居留地会場には光の回廊「ガレリア」は設置しない)近隣の飲食店等と連携し、誘客につながる取り組みを要望しました。



▶ 第25回目のルミナリエ